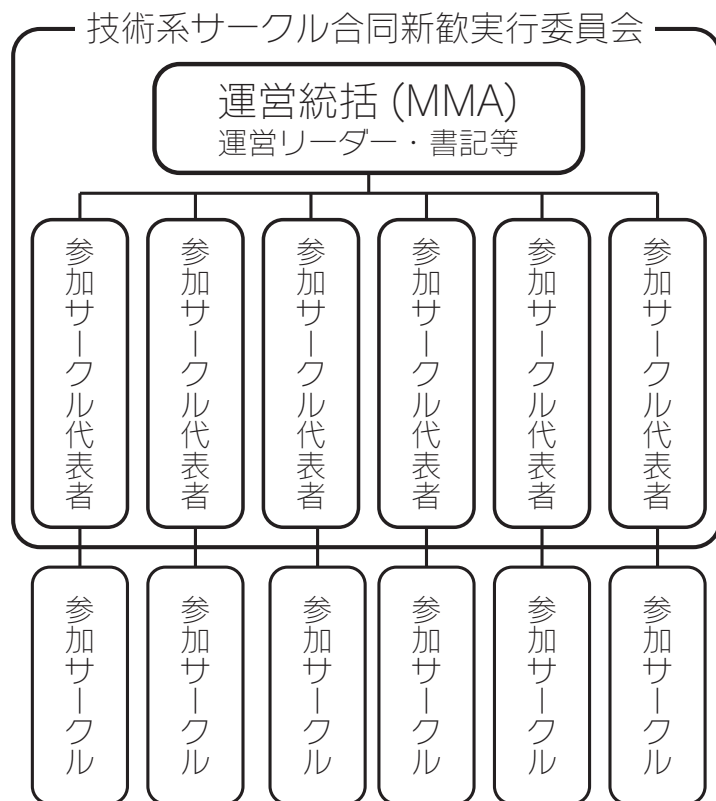
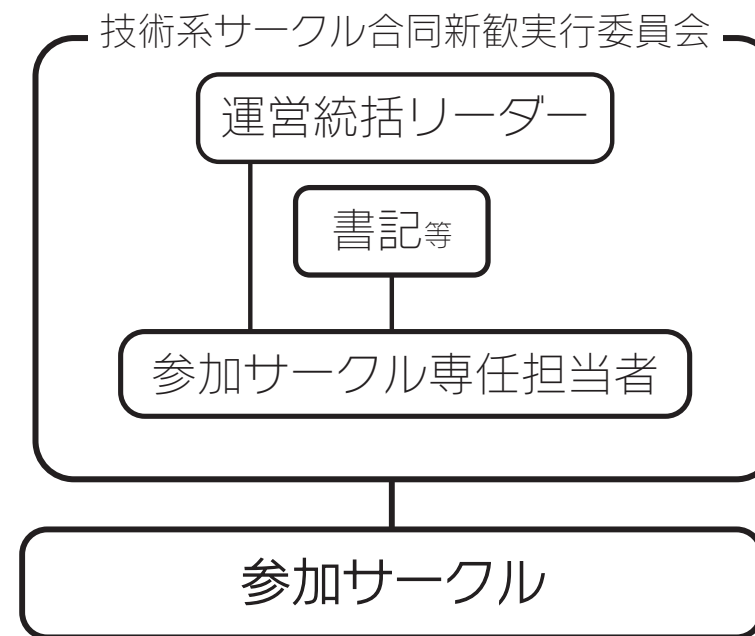


これまで



- ・現在は MMA から運営代表者を選出し、参加団体からは（おそらく）各サークルの新歓担当者が会議に参加している。
- ・現在の状況では MMA に負担が集中し、各サークル担当者も新歓全体の担当と兼任では負担が大きいように思われる。
- ・サークルからの代表者は新歓担当を兼任していることが多いと思われ、それにより負担の集中などから、各サークルとの連携を取ることが難しくなっている。

新規案



- ・すべての参加サークルから数名程度ずつ合同新歓専任の担当者を選出してもらい、全員を技術系合同の運営スタッフとし、動き始める段階から各サークルが緊密に連携して企画できるようにする。リーダー等は各サークルから選出されたメンバーの中から決定する。
- ・代表者はこれまで MMA が担当してきた領域を担い、すべてのサークルが同程度の負担になるようにする。
- ・人数の違いによる、かかる負担の違いは選出する代表者の人数で調整する。
- ・これまでの運営ノウハウは MMA が書類ベースで保管しているので、これを共有しこれからの運営に活かしていく。